

会 議 の 名 称	議員定数・報酬等検討 特 別 委 員 会 議 員 定 数 分 科 会	開催月日・令和6年 11 月 12 日 開会時間・午前・午後10 時 00 分 閉会時間・午前・午後10 時 39 分
出 席 者	安藤 誠 佐藤 健 栗津 明 原 一郎 野口 佳宏 豊島 保夫	
欠 席 者		
オブザーバー		
傍 聴 者		
説明のために 出席した者	藤井議会事務局長、浅井議会総務課長、堀議会総務課長補佐、 森議会総務課主任	
協 議 事 項	・議員定数について	

豊島座長

ただいまから議員定数分科会を開会いたします。前回の分科会で、近隣の市町で定員削減等を検討し、実施したところを調査するということを協議しました。事務局に資料を作って頂きましたので、ご説明をお願いします。

議会総務課長

タブレットの「議員定数分科会視察検討」という資料になります。座長と話している中で、平成の大合併をしているところだと、元々議員の人数は膨らんでるということで、近隣で合併していないところで探したので、検討の市は二つしかないんですけど、一つの案として説明します。

まず犬山市は、現在は 18 人になってるんですけど、当時の議員定数は 20 人で、削減を決定したのが 2 年前の 6 月議会です。特徴として、定数 20 人なんですけど議員辞職があって実質 19 人でやられてました。ここは人口を 19 人で割って、議員 1 人当たりの人口ということで、それが 3,849 人で、1 人の議員で 3,849 人を見てるということです。

それを厳しい数字にということで 4,000 人を基準としたんです。4,000 人は何の根拠もないんですけど、今よりも厳しい数値ということで、人口 7 万 2,693 人を 4,000 人で割ると 18.173 で、定数 18 人という議論があったとの情報があります。(最終的にこの根拠で決定した事実はないとのこと。)

他の市町村を見ても、削減する人数の根拠は議員の感覚で、3 人は多い、4 人は多すぎるとか、理由付けがなくて、いいか悪いかは別として、数字を用いて議論されていたのが近隣では犬山市だったと。

備考欄で、これを羽島市に当てはめてみますと、6 万 6,774 人を 18 人で割ると大体 3,700 人で、これを同じように厳しい数字ということで 4,000 人で割ると 16.643 で、18 人から 16 人という数字になります

次に瑞浪市ですけど、こちら合併をしてなくて、人口が 3 万 5,000 人ということで少ないんですね。こちらは昨年 12 月に 16 人から 14 人になってます。色合いが違うのは、瑞浪市は 2023 年 4 月の統一地方選のときに、無投票当選だったことを受けて、市民から無投票で当選するのはどうかということで、議員定数を削減しては、というところから 4 月に検討会が立ち上がって、そこから 7 回開催されて、最終的には決め方として増減なしが 1 票、2 減が 11 票、3 減が 1 票、4 減が 3 票という投票結果になって、それで一

豊島座長	番多い２人減で条例案を提出した経緯があります。 日程がタイトで、４月から１０月までに検討会を７回して、１１月の初旬から１２月の初旬までパブコメをして、その１２月議会で、多分最終日の２２日に議案を上程して議決している形になっています。事務局からのご紹介ということでお願いします。 ありがとうございました。平成の大合併は特殊な状況もありましたので、合併をしてないところで。前回の議会改革特別委員会でまとめられた、同規模人口の事例や平均的なこと、そういった状況等は今回は加味しておりません。 浅井課長の説明について、何かご発言がありましたら、
原委員	犬山市、瑞浪市ともに定数削減した市ということです。定数削減をしなかった市もあるんじゃないかなと思われまして、例えば遠いんですけど、高山市もそうです。一つの市に行くんだったら定数削減の市でいいかなと思うんですが、いくつも行くんだったら、定数を削減した市、定数の削減は議論になったけど現状維持になった市に行ってもいいかなという思いがします。 瑞浪市の知り合いの議員に聞いてみましたら、先ほど言われたとおり、無投票が原因となって削減の声が上がって定数削減したということで、他の市町からも視察に来てるというお話し頂きましたので、瑞浪市は勉強になるかなと思っています。 また、全員協議会で川柳議員から、私は増員したいんだけど議員定数分科会に入れないという話があったので。今、議論が必要なのは、増員と現状維持、定数１人削減、２人削減の四つのパターンがあると思うんです。この四つのパターンでそれぞれ議論を深めて、例えばメリットデメリットをこの分科会で話したということを、最後に全員協議会で示さないといけないと思っていますので、資料として残せる形にできたらいいかなと思います。
豊島座長	的確にパターン分けして頂いて、前回は議会改革特別委員長としてまとめられましたから、全て検討課題に挙げて勉強して、調査すべきものは全て取り上げたということを残していくというご発言がありました。
佐藤委員	原委員に関連して私の意見を申し上げたいと思うんですけど、四つのパターンということでありましたが、特に増

	員派の方々については具体的に何人の増員を求めているのか定かではないです。具体的に数字として示してもらったほうが議論しやすいのかなという気がいたしております。 あと視察先について、私はどちらでもいいのかなと思いますが、両方とも偶数の議会でございまして、定数1人減だと奇数になるわけですがけれども、削減後の定数が奇数になる議会における運用、例えば可否同数の場合どういう運用をしているのか気になるので、奇数のところに行ってみてもいいのかなという気はしました。
豊島座長	まず、実事例を調査するということは前回出ていました。佐藤委員言われたように具体的な増員数は出ていなかったと思います。そういうパターンについて、事務局ご意見を。
議会総務課長	意見の前に佐藤委員にお伺いしたいんですけど、奇数のところは削減して奇数になった市を研究したいのか、単に現在奇数の市町村でいいのか、どちらですか。
佐藤委員	どちらでもいいのではないかなという気もいたしております。奇数にしたときに運営が困難みたいな意見が出ておりましたので、皆さんはご経験もあると思うのでご存知の方も多いかと思うんですけど、私は全然分かりませんので、奇数の議会はどうか知りたいと思っております。 あと先ほど申し上げたことで補足したいんですが、増員幅を明確にして頂くのがいいのではないかなと。つまり花村委員と川柳委員が増員を主張されていたかと思うんですが、具体的な増員幅を明確にして頂くと、先ほど原委員がおっしゃっていた検討がしやすくなるのかなと思います。
議会総務課長	視察先はこれから詰めていくと思うんですけど、時間があればいろんなところに行ってもいいんですが、皆さんもお忙しいでしょうし。例えば奇数の議会に関しては視察に行くまでもなくて、議会の進め方に関することなので、電話で聞けば済む話かなと。 視察についても、議論の経緯や、深くまで議論しているところもあれば、形だけやっていきなり議案を出すところもあるので、視察先は厳選したほうがいいのかなと。報酬と一緒に行く場合、その兼ね合いもあるので。 今回案を提示しましたが、今日決めるんじゃないくて、先ほど話のあったようにメリットデメリットを検討した上で最終的に、という形がいいかなと思います。

野口委員長	定数増より定数減を優先して視察するべきだと思います。議論を聞いていても増員はなかったと思います。定数減の視察を優先させて、議員定数を増やした議会が近場であれば行けばいいと思うんですけど、あくまで定数削減した議会優先で視察は行きたいなど。犬山市か瑞浪市ですが、どちらでもいいですが、瑞浪市かなというところです。
栗津委員	定数ばかりでなく議員報酬も兼ねて、定数削減したら報酬が増えたところがあるのか調べて頂きたいと思う。それを含めて議員定数を考えていくべきだと思います。
安藤委員	視察先について、瑞浪市は令和5年12月に上程して議決ということで、まだ選挙が終わってなくて現状のままですね。犬山市は既に削減して選挙も終わってるので、デメリットも分かっているのかなと思いますので、どちらかといえは私は犬山市がいいかなと思います。
原委員	課長が言われたとおり、議論の熱量の差があって、私は深く議論してるのは高山市だと思ってます。増員の場合、減員の場合、現状維持の場合でどうなのかということが、市民に分かりやすく公表してあるので。 視察に行かずにこの分科会だけの議論でも十分かなと思います。多分、時間もないと思われますし経費のこともあるので、ここですることはここですっきりやればいいのかと思います。
佐藤委員	増員派の方々に対して具体的は幅と根拠を示してもらったほうが。増員といっても奇数になるのか偶数になるのか分からないので、案を出してもらったと思うのですが。
豊島座長	増員はつくば市がやっていたと思います。少なくとも県内と近隣にはないと思いますので、視察は近隣までお願いしたいと思います。 佐藤委員のお話の件は、増員は委員会でお話があったので、ご意見は聞いて事務局と詰めたいと思います。 今、検討会や十分な審議等がされていたということで、高山市のお話がありました。今回は本当に近くを調べて頂きましたが、他にもあると思います。 (「一番勉強しているのは高山市なの」と呼ぶものあり)

原委員	勉強しているというか公開しているのは高山市だと思います。議論の仕方が市民に分かりやすいです。絶対に全てのケースにメリットデメリットがあるので、そこで議員がこう議論してこう決めましたという形になっていて。 (「高山市は定数削減したの」と呼ぶものあり)
原委員	議論したけれど最終的に現状維持でした。 (「高山市議会が定数削減しなかった理由を聞くべき」と呼ぶものあり)
原委員	それは高山市議会の考え方で、我々が参考にすべきことではないですが、私がお伝えしたいのは、市民に分かりやすく説明をされているというところで、現状維持のために高山市と言っているのではなくて、高山市が本当にすごく噛み砕いて市民に分かりやすく、こういうふうに議論をしましたよという内容が公開されてるので、その部分はとても丁寧でいいです。 (「なら高山市に行って勉強するべき」と呼ぶものあり)
原委員	遠いし経費がかかるので。あと、ここで議論することが大事なので、外部よりここで議論して決めるべき問題だと思います。羽島市議会は羽島市議会なので。
安藤委員	高山市は合併もされて面積が非常に多いので、羽島市の面積と比べると事情が違うんですよね。人口規模だけでなく、面積も非常に大事じゃないかなと思います。
原委員	全部事情が違うので、そのとおりです。
野口委員長	犬山市と瑞浪市に行けばいいんじゃないですか。それぞれの間は1時間くらいですし。高山市は旅費次第で。
豊島座長	整理していきます。増員派の方については意見をお聞きして、事務局と相談します。今の時代遠くても文書や音声で確認できますし、資料の取り寄せも可能で、少なくとも近隣では承知していないので、分科会として勉強することは可能ですが、実例を見に行くことは難しいと思います。

	現状維持と定数削減の実例は、犬山市と瑞浪市は両方削減ですが、協議された上で現状維持のままというところは、近隣ではないかなと思います。もし出てくればそれはまたお諮りするとして、現状ではこの二つを勉強の対象として生の声を聞きに行くということで、そこまでご承諾頂けますか。 (異議なし)
原委員	瑞浪市は CCN で放送されていて、私も見たんですが、そういった意味で瑞浪市は説明を深くしてくれるんじゃないかなと思います。
豊島座長	令和 5 年 4 月から 10 月までに検討会を 7 回開催したということで、非常に開いているということも含めて候補先として選定したいと思いますが、よろしいでしょうか。 (異議なし)
豊島座長	先方の都合もありますが、時期は 12 月を外して 1 月で。
議会総務課長	視察の前に視察関係の場所、日程を決める会はどうされますか。 (「場所は 2 箇所」と呼ぶものあり)
議会総務課長	同じ日に行けますか。 (「同じ日でいいのでは」と呼ぶものあり)
安藤委員	議会が 1 月にずれ込む可能性があるのと、民生文教委員会の視察も早ければ早いほうがいいので、1 月の視察は少しタイトかなと思いますが、いかがでしょうか。
豊島座長	1 日に二つの視察は可能だと思います。
野口委員長	市長選があるから 1 月に定例会があるかもしれないでしょう。それを言ったら 1 月の日程は立てられないんだから、普通に決めればいいと思う。12 月定例会の日程案も案内しているし、予定なので立てるしかないよ。

豊島座長	他に意見ありましたら。 (意見なし)
豊島座長	先方の都合もあるので打診してもらわないといけないですから、14、15、17 日でご意見ありますか。
佐藤委員	先方の片方が都合悪ければ、二日に分けて実施するんですか。
議会総務課長	二つ行くなら優先していきたいところを決めてもらえると、そこを軸にしてもう一つの日程も決められるんです。両方に同時に視察の打診をすることはできないので。
豊島座長	優先をどちらにするか多数決を採ります。犬山市を優先したいという方は挙手を願います。 (挙手多数)
豊島座長	瑞浪市を優先したいという方は挙手を願います。 (挙手少数)
豊島座長	それでは、14、15、17 日で犬山市を優先したいと思います。先ほど原委員がおっしゃられたように、この分科会で羽島市としての議論を深めるということですので、まず勉強として視察をして、持ち帰って議論をするということにしたいと思います。 最後に、視察先は全部削減したところでしたが、事務局として、議論をしたけど現状のままになった事例を提供して頂ければと思います。
議会総務課長	花村委員と川柳委員の定数増員の関係については、委員長から確認してもらえるとということでよかったですか。
豊島座長	はい。確認して事務局に報告します。以上で議員定数分科会を終了します。ありがとうございました。 【閉会＝午前 10 時 39 分】